



「ジヤパン・ブルーの世界」 藍型染作品展

令和8年6月13日(土) ~ 7月1日(水)
9:30 ~ 17:00

ラフカディオハーンをはじめ、明治初年に日本にやってきた外国人たちは衣類のみならず国中が青い色であふれているのを見て驚き、日本を「青の国」、特に藍型染のことを「ジヤパン・ブルー」と名付けて賞讃した。カラフルな化学染料の現代の世になっても、「サムライ・ブルー」と名を変えて、藍の色は今なお日本を代表する色であり続けている。

藍型染の原点となる「ジヤパン・ブルー」をテーマとした古典模様の型紙の数々と、新たに現代生活に取り入れた藍染作品を展示し、日本の伝統的な型染の技法を紹介する。

場所 花みどり文化センター ギャラリー2

協力 下田 あや子氏 / たちかわ藍と中形の会